

# 宮田南小学校通信

12日(金)に、中間東小学校に行きました。その図書室前の廊下に、次の詩「子どもは大人の鏡」が掲示してありました。それを紹介します。

## 『子どもは大人の鏡』

ドロシー・L・ノルテ

- 子どもは、批判されて育つと  
人を責めることを学ぶ
- 子どもは、憎しみの中で育つと  
人と争うことを学ぶ
- 子どもは、恐怖の中で育つと  
オドオドした小心者になる
- 子どもは、憐れみを受けて育つと  
自分を可哀相だと思ってしまう
- 子どもは、馬鹿にされて育つと  
自分を表現できなくなる
- 子どもは、嫉妬の中で育つと  
人をねたむようになる
- 子どもは、ひげめを感じながら育つと  
罪悪感を持つようになる
- 子どもは、辛抱強さを見て育つと  
耐えることを学ぶ
- 子どもは、正直さと公平さを見て育つと  
真実と正義を学ぶ
- 子どもは、励まされて育つと  
自信を持つようになる

子どもは、ほめられて育つと  
人に感謝するようになる

子どもは、存在を認められて育つと  
自分が好きになる

子どもは、努力を認められて育つと  
目標を持つようになる

子どもは、皆で分け合うのを見て育つと  
人に分け与えるようになる

子どもは、静かな落ち着いた中で育つと  
平和な心を持つようになる

子どもは、安心感を与えられて育つと  
自分や人を信じるようになる

子どもは、親しみに満ちた雰囲気の中で育つと  
生きることは楽しいことだと知る

子どもは、まわりから受け入れられて育つと  
世界中が愛であふれていることを知る

あなたの子どもはどんな環境で育っていますか？

この詩を読んで、どんな感想をもたれますか。最初の7行の「批判、憎しみ、恐怖、憐れみ、馬鹿に、嫉妬、ひげめ」は、ついついやってしまふこと、そしてその後後悔することではないですか。

その後の11行は「辛抱強さ、正直さと公平さ、励まし、ほめる、存在を認める、努力を認める、分け合う、落ち着き、安心感、親しみ、受け入れ」は子どもだけでなく、私

たち大人も望んでいる環境だと思えます。

南小学校でも、この11行を大事にして、職員一同子どもたちと接していきたいと思えます。

どうぞ、ご家庭でもお子さんと、きちんと話をしてみてください。お子さんはいつも私たち大人の言動をみていろいろと考えています。お互いの気持ちを素直に話すことも必要です。

**個人懇談で、お子さんの心配事を出してみてください。**

19日(金)は終業式です。そして、20日(土)からは夏休みです。皆様もご存じの通り、学校では23日(火)と24日(水)に個人懇談を予定しています。

ぜひ、この機会にお子さんのことで、悩まれていることがございましたら、心配に思われていたことがございましたら、担任にご相談ください。窓口は担任ですが、学校では報告・連絡・相談を行い、組織で対応しています。

すぐに回答ができません、後ほど連絡いたします。どうぞ、何でもご相談ください。